

2023.6.3. (June 3) 「帰国小学生英語保持講座」 言語学博士 服部孝彦教授 特別授業 「子どもの発話力を引き出す英語の質問法」 帰国生の英語力保持に関する相談もどうぞ！

大妻中野中学校・高等学校では、18年目を迎える「帰国小学生のための英語保持講座」を毎週土曜日に、無料で実施しています。この講座は、本校のアメリカ人専任教諭が、帰国小学生の英語力、保持・伸長のために本校の帰国生英語教育の取り組みの知見を生かして行っているものです。楽しいアクティビティとともに、アカデミックな内容のものを読んだり、ディスカッションを行ったり、プレゼンテーションを行ったりしています。

6月3日(土)は本校の学校説明会に合わせて、JOES の英語保持教室でもおなじみの言語学博士・大妻女子大学大学院教授、服部孝彦先生（本校のグローバル教育・英語教育のスーパーバイザーでもあります）による以下の「親子で取り組む英語保持」特別授業を行います。

子どもの発話力を引き出す英語の質問法

帰国子女の保護者からはよく、どうすれば帰国後の英語力を保持できますかと質問されます。海外から帰国した親の最大の関心は、海外で子どもが身につけた英語力をいかにして保持していくかです。子どもたちは、日本に帰国したとたん、日本語だけの生活環境に戻ってしまいます。せっかく海外で身につけた英語力も衰えます。特に英語スピーキング力の喪失は急速におきます。英語スピーキング力の保持のためには、英語を話す機会をできる限り作る必要があります。そのための親のサポートは欠かせません。

親が英語で子どもに質問をして会話をするのは、英語スピーキング力保持には有効です。ただし、単に英語で質問をすればよいわけではありません。質問には Closed-ended questions と Open-ended questions の2つの種類があります。Closed-ended questions は Yes や No で短く返答できる質問です。それに対して Open-ended questions は比較的長い返答が必要な質問です。

この講義では Open-ended question を中心に、英語スピーキング力保持のための練習を行います。子どもと英語で話す時の、親がする質問の仕方のヒントが得られることでしょう。親子でこの講座に参加され、英語を使って、子どもから発話を引き出す技法を学んで、お子さんの英語スピーキング力保持にお役立て下さい。この特別講義の講師の服部孝彦博士は、アメリカの大学及び大学院での言語学、応用言語学、および英語教育学の教授経験のある第二言語習得と第二言語喪失研究の第一人者です。



服部孝彦先生による特別授業要項:

講座日時: 2023年6月3日(土)11:50~12:40 本校英語室

対象: 本校の帰国小学生英語講座受講生とその保護者（一緒に参加ください）

今回は、受講生でなくても参加できます。参加希望の方は、本校グローバル・センターに保護者・お子さんのお名前、現在の在籍小学校、学年、メールアドレスを記し、お申込み下さい。この特別授業は対面授業ですが、オンライン(ZOOM)参加も可能です。

申込先: global@otsumanakano.ac.jp

締切: 5月31日(早めの申込をどうぞ)

*** なお、通常の帰国小学生英語保持講座へのお申込みも大歓迎です。上記までメールをお願いします。**

[服部孝彦(はっとりたかひこ)先生 ご紹介]

大妻中野中学高等学校 英語教育・グローバル教育アドバイザー・大妻女子大学・同大学院教授

初等・中等・高等教育を日米両国で受けた元帰国子女。言語学博士(Ph.D.)。米国ケンタッキー州立ムレー大学(MSU)大学院客員教授等を経て現職。公益財団法人海外子女教育振興財団外国語保持教室アドバイザー、国連英検統括監修官兼外国人面接官指導研修スーパーバイザー、JSAF-IELTS アカデミック・スーパーバイザー、元NHK 英語教育番組講師。文部科学省 SGH や WWL 等の、国のグローバル化のためのリーディング・プロジェクトの中心メンバーとして活躍している。著書に文部科学省検定中学および高校英語教科書他、著書 196 冊、学術誌発表論文 153 編、学会発表論文 202 編、教育誌執筆記事 496 編。今までの日本及び海外での英語教育、グローバル教育、帰国子女教育関係の講演回数は合計 1,250 回を超える。日本に本拠地を置く現在でも日米間を頻繁に往復しながら、米国の大学での講義・講演、国際学会での研究発表を精力的にこなす。

大妻中野 帰国小学生英語保持講座 受講生からのメッセージ

2021年度本校卒業 早稲田大学 国際教養学部 2年 手塚 まりこさん

両親から大妻中野のホームページに帰国小学生英語講座があることを聞き、当時、小学6年生の私は、すぐに始めたい、と自分から申し出ました。アメリカから帰国後、公立の小学校にいた私は英語を話す機会が無く、英語に飢えていたのだと思います。緊張しながらクラスに入ると、先生がとても優しく、フランクに話しかけてくださり、すぐにクラスに馴染むことができました。このクラスでは皆が意見を持ち、お互いを認め合う環境が整っていたのでとても居心地の良い場所に感じました。この講座を受けたことで帰国後の英語能力維持に、とても効果があったと感じています。クラスの友人達とそしてユニークな先生と、授業だけでなくバスケットボールやゲームをしたり、またハロウィンやバレンタインなどの行事も楽しんだりと心に残る思い出はたくさんあります。興味深い授業もあり、テイラーズウィフトの曲を聴きながらディクテーションをしたことなどです。音楽を聴きながら単語を理解するこのスタイルは、当時の私にとってとても斬新で記憶に残っています。

2022年度本校卒業 ICU 国際基督教大学 教養学部 1年 玉川 華蓮さん

私は小学校 5 年生の 2 学期に日本へ帰国し、中学受験を意識し始めました。帰国生を多く受け入れている学校を受験しようと思い、両親と共に学校選びをしていく中で大妻中野を見つけ、「帰国小学生英語講座」の存在を知りました。この講座は毎週土曜日に開催され、実際に大妻中野で英語の授業を担当されているネイティブの先生が授業を行って下さいました。毎週通うことで、学校や生徒さんの雰囲気を知ることが出来、いつも学校の生徒さんが小学生の私にも笑顔で挨拶してくれたことが印象的でした。入学する前から学校の雰囲気を間近で知れるというのは、この講座を受講する一番の魅力だと思います。私がこの講座で一番印象に残った授業は、グループで行ったプレゼンテーションです。初対面の子とグループになり、図書室で本を借りてリサーチを行い、フィルムの仕組みについて発表しました。初対面の人と共に協力し、発表することで、主体性や協調性、発信力など、新たなスキルを磨くことが出来たと思います。

2022年度本校卒業 東北大学 農学部 1年 増田 愛さん

私は3才から6才までオーストラリアで過ごしました。英語を忘れないようにと、両親の勧めで、小学4年生からこの大妻中野の帰国小学生英語講座に通い始めました。帰国してすぐのハイレベルな友達に気後れすることもありましたが、ネイティブの先生や周りの友達がフレンドリーに接してくれたので、だんだんと積極的に英語を話せるようになりました。また、英語を使ったさまざまなアクティビティーは英語に親しむ良い機会でした。特に、みんなでドッチボールをしたことやパーティーをしたことをよく覚えています。楽しみながら英語を使うことで、より自然な英語が身につくようになったと思います。この講座に参加し、英語に触れる機会が増えたことは、その後の大妻中野の学校生活でとても役立ちました。

本校帰国小学生英語保持講座参加 - 小学6年生 C.F.さん保護者

北米からの帰国後、英語力の保持のために海外帰国子女教育財団が行っている保持教室に通っておりました。そこで、保持教室の監修をされていらっしゃる服部先生の講演を聞く機会があり、服部孝彦先生の帰国子女の強みを活かして育てていく教育論に感銘を受けていました。その後、大妻中野の帰国小学生英語講座に娘を通わせています。この講座では、ありのままの自分を受け止めてもらったのが親子共に有り難く感謝しております。